

国民保護共同訓練の実施について（青森県）

以下のとおり、国民保護共同訓練が予定されていますのでお知らせします。

○ 訓練実施日（予定）及び実施方式

都道府県	訓練実施日（予定）	訓練方式
青森県	2月8日（木）	図上

報 道 機 関 各 位

危機管理局防災危機管理課長
(公 印 省 略)

令和 5 年度青森県国民保護共同図上訓練の実施について

緊急対処事態発生時における初動措置の確認、能力向上等を目的として、国（消防庁）、青森県及び青森市の共同で下記により図上訓練を実施するのでお知らせします。

記

1 日時、訓練場所、訓練想定、主要訓練項目、参加機関等

別紙「令和 5 年度青森県国民保護共同図上訓練概要」のとおり。

2 訓練当日（2 月 8 日（木））の流れ

時間	区分	場所等
08:45～09:15	受付	県庁北棟 2 階 エレベータホール前
09:30～11:55 頃	図上訓練（討議型※）実施	県庁北棟 2 階 災害対策本部室
11:55 頃～	講評（消防庁（予定）、秋田県、鰺ヶ沢町） 総評（県危機管理局長）	

※ 討議型訓練について

本県で例年実施しているロールプレイング方式と異なり、訓練シナリオに基づき進行者が状況説明を行い、訓練参加機関にその状況における対応要領・対処能力等について発表を求めるとともに、質疑等を通じ参加機関相互の活動や対処能力について理解を深め、以て事案発生時の対処能力の向上を図るもの。

3 取材にあたっての注意事項

- （1）県庁北棟 2 階エレベータホール前に設置する受付において、0 8 時 4 5 分から 0 9 時 1 5 分の間に手続きをお願いします。受付場所、取材エリアについては別紙 2 を御参照ください。
- （2）取材にあたっては、社名が判る腕章等を着用してください。
- （3）訓練終了後、同所で講評等を実施します。

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	危機管理局防災危機管理課 危機管理対策グループ 総括主幹 成田 輝彦
電話番号	直通 0 1 7 - 7 3 4 - 9 0 8 8 内線 4 1 2 0
報道監	危機管理局次長 山上 良一

令和5年度青森県国民保護共同図上訓練概要

別紙 1

日 時	令和6年2月8日（木） 09:30～12:00(振り返り含む)	
場 所	青森県庁	
目 的	(1) 緊急処理事態発生時の初動措置の確認、能力向上 (2) 国、県、市、関係機関の連携強化 (3) 危機管理指針、各種マニュアル等の検証	
主要訓練項目	(1) 事態認定前の初動対処 ① 被害情報の収集、伝達 ② 対策本部設置（県、青森市） ③ 各種応援要請（緊急消防援助隊、自衛隊 等） ④ 被災者救助、住民の避難措置 (2) 緊急処理事態対策本部の設置・運営 ① 緊急処理事態対策本部の設置 ② 法定通知等の伝達 ③ 国、県、市、関係機関が連携した住民避難要領の検討 ④ 本部会議要領 (3) 事態認定前後における国との連絡調整	
参加機関（仮）	政府機関	内閣官房、消防庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、自衛隊青森地方協力本部、青森地方気象台、青森海上保安部、東北運輸局青森運輸支局
	地方公共団体	青森県、秋田県、青森市、青森県警察本部、鰺ヶ沢町、青森消防本部、弘前消防本部、八戸消防本部
	指定地方公共機関等	日本赤十字社青森県支部、東日本旅客鉄道(株)、(公社)青森県医師会、青森県立中央病院、青い森鉄道(株)、(公社)青森県バス協会、(公社)青森県トラック協会 等
訓練統監	青森県危機管理局长	
訓練方式	討議型として実施	
訓練の公開	公開（ただし、住民の参観は受け付けない）	

〈訓練想定日:9月8日〉 テロ準備情報があったため、青森県は青森県危機対策連絡室、青森市は青森市緊急事態連絡室を設置していたところ、青森市内空港、高速道路施設等で不審物発見事案発生。その後新青森県総合運動公園陸上競技場で大規模スポーツイベント開催中に化学剤散布事案、爆破事案が発生(死傷者多数発生)。 上記事案で拘束したメンバーからの供述により青森港フェリー埠頭を含むエリアに爆発物等を所持し潜伏との情報。時限式爆発物による爆破事案が発生。	想定の特徴 (案)
備考(過去の実績・国への要望等) H20:共同図上訓練、H22:共同図上訓練、H25:共同実動訓練、H29:共同図上訓練、R02:共同図上訓練 3年ぶりの共同訓練であり、シナリオ作成等の助言をお願いしたい。	

【事案1】
青森空港ターミナルビルにて不審物発見事案発生

【事案2】
東北自動車道青森東IC付近で不審物発見事案発生

【事案3】
新青森県総合運動公園でイベント開催中、化学剤(サリン)散布事案、爆破事案発生
死傷者多数

【事案4】
爆発物等を所持したテログループが青森港フェリー埠頭を含むエリアに潜伏。警察による立入規制及び緊急配備を実施。

【事案5】
青森港フェリー埠頭にて爆破事案発生

国土地理院地図を一部改変して使用

訓練シナリオ概要

第一事案発生までの状況

- 3月上旬：世界各地でテロ活動を主導している国際的テロ組織「X」の幹部がA国を中心とする有志連合の攻勢により死亡、これにより「X」は関係国への報復を宣言。
- 5月上旬：B国（有志連合）で大規模集客施設を標的とした化学剤散布テロが発生、「X」は犯行声明を出し、今後も同様の報復を行う旨宣言。
- 6月中旬：国連安保理が、「X」に対する非難と、外国からの戦闘員の流入や資金調達の阻止を目指す決議を採択。
日本政府は、「X」を支援している国への経済制裁を表明。これに対し、「X」は「日本」も報復の対象となったとの声明を発表。
- 8月下旬：本県日本海沿岸で不審船漂着事案発生。
- 9月上旬：B国で拘束された「X」のメンバーのPCの履歴等から、別動メンバーが既に日本国内に潜伏し、テロの準備を進めていることが判明した旨、B国から日本政府に情報提供。（その際、今年、日本国内で実施される大規模イベントについて情報収集している模様との情報提供あり）
- 9月6日：他県の大規模イベントにおいて、爆発物が発見される事案が発生。
- 9月7日：消防庁から青森県に対して、「X」に関する注意喚起情報。これを受け、県は青森県危機対策連絡室、市は緊急事態連絡室を設置。

時間経過	事態の進展	国	青森県	青森市
訓練開始前	○日本でのテロの危険性が高まったことによる警戒態勢の強化	○消防庁第2次情報連絡室、官邸連絡室設置	○青森県危機対策連絡室設置	○青森市緊急事態連絡室設置
想定時刻 10:00	【事案1、2】 ○青森空港ターミナルビル、東北道青森東IC付近で不審物発見事案発生			
10:15	【事案3】 ○新青森県総合運動公園においてスポーツイベント開催中、観客用ゲートにおいて化学剤散布事案、爆破事案発生（死傷者多数） ○犯人グループは全員確保 ○国際テログループ「X」がインターネットで犯行声明	○官邸対策室、消防庁緊急事態調整本部設置	○青森県危機対策本部設置 ○DMAT派遣要請 ○緊急消防援助隊要請 ○自衛隊災害派遣要請	○青森市災害対策本部設置 ○緊急消防援助隊要請 ○自衛隊災害派遣要請の求め
10:30 10:35	【事案4】 ○警察が拘束した犯人グループから「武装し、化学剤を保有したメンバーが潜伏し、フェリー埠頭からフェリー等を使用して脱出予定だった」旨の供述を得る。 ○テログループが青森市沖館～新田地区に潜伏しているとの情報。 ○上記地区について、警察による立入規制及び緊急配備を実施		○避難先調整、避難経路等見積り、救援内容の検討 ○避難手段の検討、関係機関との調整	○避難先調整避難経路等地域見積り、救援内容の検討 ○避難実施要領の検討・作成
11:00	【事案5】 ○青森港フェリー埠頭において時限式爆発物による爆破事案発生	○国家安全保障会議 ○臨時閣議		
	事 態 認 定			
13:00	Em-Net送信	○緊急対処事態対策本部設置・会議開催 ○対処方針、政府対策本部設置、対策本部を設置すべき地方公共団体指定、警報の発令 ○避難措置の指示、救援の指示等	○県緊急対処事態対策本部設置・国民保護等派遣要請 ○警報の通知 ○避難の指示、市への救援事務の委任等 ○県緊急対処事態対策本部会議開催	○緊急対処事態市対策本部設置 ○警報の伝達 ○避難住民の誘導、救援の実施等 ○市緊急対処事態対策本部会議開催
13:30	Em-Net送信			
14:30				
12:00 【実時刻】	<訓練終了後振り返り>			

訓練会場・報道機関等参観エリア

別紙 2

青森県庁 北棟 2階

